



2018.11.1 NO.58
保育室 すまいる

<月のテーマ：あそびこむ>

年齢別 月の保育のねらい

<1歳児>

- 好きな遊びにじっくりと取り組み、発見を楽しむ。
- 友だちとの関りの中でのぶつかり合いを通して相手の存在や思いに少しずつ気づく。

<2歳児>

- 思いを伝えながら少人数でのグループ遊びを楽しむ。
- 体験したことや感じたことなど、言葉にして保育者や友だちに伝えようとする。

<3歳児>

- 年上の友だちがしていることに興味をもち、真似したり一緒に遊んだりすることを楽しむ。
- 秋の自然に触れ、秋の深まりを感じる。

<4歳児>

- 数人で仲間となり、遊ぶことを楽しむ。
- 生活や遊びの中で、自分なりのイメージを表現する楽しさを味わう。

<5歳児>

- 友だちと共通の目標に向かって取り組む楽しさを知る。
- 異年齢の友だちとの関わりを深め、リーダーとしての自覚を持つ。

<ハロウィンをしよう> ~10月31日(水)~

今年、10月に入るころにはもうハロウィン、ハロウィンとウキウキしている子どもたちでした。切り紙をして、かぼちゃやコウモリを作り、天井からつるして雰囲気作りを楽しんだり、そこからお化けごっこが始まったり・・・こんなに早くからハロウィン、ハロウィンと盛り上がり本物のハロウィンの時には、興味がなくなっているのではないかと思うくらい10月の最初から何かといえばハロウィンを楽しんでいました。今年、町の中の雰囲気がハロウィンを感じさせるものが多かったのかもしれませんが、オレンジ色の中くらいのかぼちゃをいただいたので、それに目・口を画用紙でつけ、お化けカボチャを作って飾ったりしました。ピアノの上に置いて、日々見ている子どもたちでした。

“すまいるまつり”が終わるころ、「S家で大きなかぼちゃを作ったので、保育室で使いませんか？」と提案があり、即答「使います！ください！！」といただくことにしました。とある日曜日にS家の家族みんなで大きなかぼちゃを届けに来てくれました。

『この階段を・・・どうやって運ぼう？重いぞ・・・』階段の下で相談・相談・・・タンカーみたいに大きなタオルで運ぶと運べますよ・・・やってみよう・・・大きなタオルを保育室から持ってきてかぼちゃを乗せて・・・意外に運べるものでした。

次の朝、「大きなかぼちゃがあるー」とかぼちゃをめぐるひと騒ぎ「ハロウィンだからだよね」昨年、お化けカボチャ作りに協力してくれIさんに今年も協力を依頼、S家から来たかぼちゃに目・鼻・口をくりぬいてくれました。その様子を見て子どもたちは沸き上がり、ワタなどを取り出したり、冠を作ったり・・・発想豊かにおばけかぼちゃ作りを楽しみました。お部屋を暗くして、ろうそくを灯すと・・・おばけかぼちゃが笑っているように・・・夕方帰るくらいにまたお部屋を暗くしてろうそくを灯すとさらに怖いお化けかぼちゃに見えました。おばけかぼちゃのランタンをペットボトルを使って作ったり、かぼちゃプリンを作ったり、かぼちゃの菓子箱を作った時には、最高潮でした。先生たちが隠れているところを探し、「おかしくれなきゃ、いたずらするぞ！！」とお菓子をもらってあるいてかぼちゃの菓子箱をいっぱいにしました。お菓子はお家に帰ってからの楽しみ！！

かぼちゃプリンはおやつの時間に食べました。おいしかったね！！

10月最初から楽しみにしていたハロウィン！！最後まで楽しむことができました。協力していただいたS家・Iさんありがとうございました。



世界中の子どもたちが

